



矢中だより

第7号
令和5年6月7日
由利本荘市立矢島中学校

修練の刻とさ

『自主・敬愛』を校訓とする本校は、同時に「礼儀」を重んじる学校でもあります。学校行事や毎日の活動、授業を通して、この礼節を養っていくほか、年間の特別な時間を通して、自分を見つめる機会としています。この特別な時間が『修練の刻』と呼ばれるものです。

修練の刻の意義

- 一 落ち着いた気持ちでよいスタートができる
- 一 無言で素早い行動ができる
- 一 心身を鍛え礼節を重んじる精神が身に付く

○『修練の刻』は、次のように計画されています。

4月～ 9月 「第一歩 黙想の刻」 ～黙想を通して自己を見つめる～

10月～11月 「第二歩 入魂の刻」 ～剣道を通して自己を鍛える～

5月29日(月)5校時にオリエンテーションを行い、31日(水)朝に1回目の『修練の刻』を行いました。



要請訪問

5月24日(水)、中央教育事務所由利出張所の指導主事の先生をお迎えして授業研究会を行いました。授業提示してくれたのは2年生の国語で、「行書を活用しよう」の授業を見ていただきました。生徒は、タブレット端末を活用し、自分の作品と行書で書かれた手本を比べ、作品のよい点や改善点を見つけました。

指導主事の先生からは、主体的に学習に取り組んでいるなどたくさんのお褒めの言葉をいただき、また、具体的かつ丁寧なご指導をいただきました。今後は、助言していただいたことを生かして、生徒のために、全校一丸となってさらなる指導の充実を図っていきたいと思います。



駅前花壇づくり

5月29日（月）の1・2校時に「駅前花壇づくり」がありました。矢島中学校2年生が市民サービス課の方のアドバイスを受けて、ひまわりやサルビアの苗を植えました。当日はあいにくの小雨でしたが、みんな一生懸命に作業しました。例年、たくさんの人が矢島駅舎と由利高原鉄道の車両を背景にひまわり畑の写真撮影しに訪れます。今年も見事なひまわり畑ができるのを今から楽しみにしています。



普通救命講習

2日（金）、2年生を対象に普通救命講習を実施しました。午前日程で、3名の矢島消防署員の方々に来ていただきました。初めに心肺蘇生法とAEDの使い方についての知識を学び、そのあと3グループに分かれて実際に救命方法を体験しました。閉講式では、この講習を終了した2年生全員に認定証をいただきました。



第1回学校運営協議会

6日（火）の午後、第1回矢島中学校学校運営協議会が行われました。学校運営協議会とは、学校の運営に関して協議するために置かれる機関のことで、由利本荘市の小中学校ではすべての学校に設置されています。本校は13名の委員で学校運営協議会を構成しています。この日は6校時に全学年の授業参観をした後、学校運営方針等について説明と協議が行われました。新型コロナウイルスも収束に向かい、学校運営も以前の状況を取り戻しています。矢島中の生徒の健やかな成長のために、学校と地域が連携して取り組んでいくことを確認しました。また、授業一巡の感想では「生徒が落ち着いて学習に取り組んでいる」「ICTを効果的に活用している」「創造性の豊かな生徒が多い」といったお褒めの言葉をいただきました。とても暑い中での授業でしたが、生徒の頑張りが評価されました。



お知らせ

16日（金）の15時より矢島中学校体育館において地区総体決意表明を行います。「チーム矢島」として出場する選手の意気込みと勇姿をご覧ください。できれば幸いです。

